

住まいと生業なりわいの**再建**へ**全力**

西日本豪雨災害から**1**年

倉敷市真備町をはじめ総社市、高梁市、新見市、矢掛町など高梁川流域で、甚大な被害を出した「西日本豪雨災害」から1年——。日本共産党の仁比そうへい参議院議員は、発災直後から地方議員、専門家とともに被災地に入って被災者の要望を聞き取り。住民要求の実現へ市議会、県議会、国会が一体となった取り組みをすすめて、被災者の住まいと生業（なりわい）の再建へ全力を尽くしてきました。被災者の生活再建は、これからです。引き続き県議、市議、町議と連携し、国政の場で頑張っていきます。

日本共産党

仁比そうへい

参議院議員・弁護士（全国比例）



にひ・そうへい ●1963年北九州市で新日鉄労働者の家に生まれる。小倉高校、京都大学法学部卒●弁護士（北九州第一法律事務所）、1999年から国政候補として活動、2004年参院選の比例区で初当選。13年参院選で議席奪還●議運理事、憲法、情報監視、予算、決算、国土交通、法務、災害委員などを歴任。現在は党中央委員、党参院国対副委員長●家族：妻／1女1男。



県議、市議、町議と連携。何度も国会質問。支援策 被災者の声とどけ**国政**を動かす

小田川の付け替え工事 河川整備計画を前倒し

明治以来の住民要求だった小田川の高梁川への付け替え工事を5年間前倒して実施することになりました。

河川敷の樹林帯を伐採

災害前から国に要望してきた河川敷の樹林帯の伐採がすみ、公園などに利用されることに。

発電・利水ダムで全国初 新成羽川ダムの事前放流

小田川などの決壊は上流ダム群の異常放流が原因の一つ。仁比議員の質問で、国交省が早くからダムの放流量増加を知っていたことが明らかに。高梁川流域4市とダム管理者などで行う協議会が決めた新成羽川ダムの事前放流ルール確立に結び付きました。

避難所の改善



クーラーの設置や温かい食事の提供、ペット同居など、避難所生活の改善を求め実現。

グループ補助金など拡充

中小企業、地元商店への直接支援策として、グループ補助金、持続化補助金の適用や、土砂に埋もれた農地の復旧・助成など営農再開へ向けた支援策を実現しました。

公費で土砂撤去、解体

「壊れた家や敷地内の土砂の撤去は自力、人力では不可能」と迫り、全額公費による土砂撤去制度を実現。また、公費解体も全壊家屋だけでなく、半壊家屋まで拡充しました。

木造仮設住宅の建設

暮らしやすく、バリアフリーにも対応できる木造仮設住宅の建設を国会で求め実現しました。



県議、市議らとともに9回目の政府交渉 医療費、介護保険の減免の延長を要求

5月29日には、須増伸子県議をはじめ市議、町議らとともに9回目の政府交渉。医療費、介護保険の減免（1年間）の延長を強く求めています。

制度解説 参議院 比例代表は 「日本共産党」と政党名でも 候補者名でも投票できます

国民の苦難軽減が「立党の精神」です **日本共産党**